

総務建設経済常任委員会会議記録

1. 期 日 令和6年5月24日(金) 開会 11 時 30 分
閉会 11 時 54 分
2. 場 所 第1委員会室
3. 付議事件
 - ・新庁舎整備に求められる機能について
 - ・地域公共交通のあり方について
4. 出席者 小笠原委員長、渡辺副委員長、羽根委員、小林委員、浜井委員、善波委員、大沼委員
傍聴議員 0 名
一般傍聴者 0 名
議会事務局 2 名 事務局長、庶務課長
5. 経 過

新庁舎整備に求められる機能について 地域公共交通のあり方について

委員長

皆様こんにちは。今日は6月議会前に、正式な総務建設経済常任委員会を開催する。今日は残念ながら議長が、他の公務で、参加できないということである。それで、私どもは、この3月議会が過ぎた後の調査研究2つのテーマを持って活動してきているが、これまでの動きとしては、4月の12日に秦野市に、視察させていただいた。大変実りの多い、充実した視察で、午前中は市役所で、担当課の方に詳しく説明していただき、また都市部交通住宅課だけではなく、福祉部高齢介護課の方からも、ボランティアによる地域公共交通についてご説明いただき、また午後からは、私たちは実際に、乗り合いタクシーに、渋沢駅から赤十字病院までの、全員は乗れなかったが、3名の委員が乗って、体感し、いろいろ学ばせていただいたところである。地域公共交通のあり方についてはそのような形で、実際、視察なども含めて動きがあった。また、一応それについての調査研究日を5月の連休後の9日に実施して、よりもっと具体的、政策提案できるように、具体的に活動していこうということで、2つのチームに分けて調査研究を進めてきている。1つは、移動困難地域についてルートを洗い出すチームと、それからもう1つは運営の形態などについて表を作って整理するチームとに分かれて実施した。それについて、移動困難地域についてのルートを洗い出すルートチームは、渡辺副委員長、大沼委員、浜井委員、善波委員で、調べていただいている。運営の形態などについて表を作って整理する方は私小笠原と羽根委員と小林委員で、進めているまだ途中である。

暫時休憩 11時33分
再開 11時34分

委員長

再開する。秦野市の視察のまとめに、今私、先ほど説明の中で、今後の活動についてと言ってちょっと秦野市の視察のことを飛ばしてお話してしまったけれども、やはり秦野市の視察を受けた上で、そのような形にしていこうということになったので、秦野市の視察のまとめについて意見交換会を行ったので、その主な要点を浜井委員の方と、また、それを補完する意味で他の方のご意見を上げていただければと思うのでよろしくお願いします。

浜井

せんだって秦野市調査研究をさせていただいた。その中で前半、講義という形で、市の職員の方からお話を聞き、午後から実車をさせていただき、やはり実際に乗った午後の乗車というのが、頭に強く残っている。初めは時間帶的なものはもう、お昼過ぎということもあり、それほど多くの方がいないのかなと思ったけれども、満員になるというぐらいに乗られる方もいて、大変必要な状況だになってというのが改めて感じられた。そしてあとは、太い広い道を走るだけではなく、細かい住宅地の中も入っていただき、帰り、買い物の荷物を持った方も、非常に便利に利用されて、運転手の方も親切丁寧に、乗車される市民の方も介助しながらという姿を見て、やはりこういう姿も二宮町でぜひ、実行できたらなというふうに感じたところである。あと、庁舎の中で職員の方から話を伺った中で、地域の商店と、商店街等と連携して、そのお店で発行するカード等が乗車券として利用できるというようなシステムを運営しており、当二宮町でも二宮町商店連合協同組合がやっているJOYカードと、或いはギフト券と、そういったものも連携して、町の今現状であるコミュバスなどでも利活用して、便宜が図られればなあというふうに感じていた。

委員長

大沼委員いかがか。

大沼

今の浜井委員の方のお話の中で商店街の、ギフト券とか、そういうものも利用できるというお話あったけれども、秦野の場合にはこの事業者の方が、ここの部分に協力をして、ある程度負担をしてくれているというところもあるので、そのあたりも今後、町の方でも検討すべき課題だなというふうに思っているところである。それとあと、やはり、定期運行で定時になると、利用したい方が、そこへ集まってくるということで、利用される方々は、そのスケジュールに合わせて、ある程度1日の予定というものを立てられていると思うので、やはりデマンドとか、こう呼んでとかというやつぱり、中井の場合でも、平均乗車率とかがすごく少なかったので人数が、なのでやはり定時で、しっかりと安心して、待って乗れるというようなそういうスタイルが適切なのかなあと思ったところである。また全然違うエリアであるけれども、私が山梨の方を移動していたときにも、やはりそういう定時で運行するバスを待っているという方が、いられたので、そのあたりは、二宮の中でも、デマンドではなく、定時運行のルートバスっていうもので、検討していくべきだというふうに考えているところである。

委員長

副委員長いかがか。

副委員長

車に乗ると、ホームページの方は13人だったが、9人の乗客ということになっていて、座席を実際には3つ外していたようである。これその後、免許のことかなということに、普通免許でも運転できるようにこの路線はしたというふうに聞いている。それからあと、福祉部門とそれから都市部門の連携の方であるが、これは何か仕組みがあるのかなと思って期待している部分もあったが、そういうのはなくて、実態上運用をうまくしているということであった。それからあと、運用の仕方について、それぞれの対象地域のニーズに基づいて、ボランティア主体の運営だったり、それから、事業者に委託をするという運営だったり、その辺はうまく使い分けているという、背景がいろいろあるのしょうけど。そういう印象も受けた。町全体で、機能していくというのは、やはり自治体の仕組みであると思う。もう1つ、やはり町の方、その地域がやはり廃墟になってしまったら復活しないという、そういうふうな印象というか、お話の中では伺ったので、大切に組み込んでいく必要があると感じている。

委員長

他によろしいか。羽根委員、よろしいか。主に他のメンバーも秦野市のお話、そして現場を見に行った感想は、今述べられた皆さんとほぼ共通しているところがあって、やはり小型の乗り合いタクシーの運行があれば、人々が便利に暮らせるなという印象を全員が受けた視察だったのかなというふうに感じている。先ほど申し上げたように、私どもの町も、ではどうしていくのかというところで、2つのチームに分かれて、先ほど申し上げたような調査研究を今まだ進めている最中である。先ほどちょっと日程は申し上げなかったけれど、私どもの委員会は、視察は4月の12日に行かせていただいて、そのあとそれを受けての調査研究日は、連休が間に入っていたので、9日に実施した。そして、本日、この正式な委員会は11時半からであるけれども、その前に、10時から調査研究を、全員のメンバーで、改めて、2つのチームに分かれて研究しているところを、情報の共有化を図ったところである。そしてその情報の共有化をしていく中で、今後、地域、公共交通に取り組んでいる他の自治体で取り組んでいる事業者の研究も進めていかなければならないということで、合意している。また今朝の神奈川新聞には、葉山町では地元のタクシー業者が定時運行を進めていくという話も載っているので、そこもしっかり注視して、学ばせていただければというふうに考えている。地域公共交通については、そのような形で、しっかり活動してきている。他にこういうこともやったとか、これも今この正式な委員会でテープに載るので、意見、言っておきたいというようなことがあれば、どなたか。どうぞ、委員の皆様、地域公共交通のことについて。

大沼

このルートを研究していく中で、やはり今の現存のコミュニティバスの、その運行ルートとか、あとは乗車の数のところに合わせて、どこが、例えば新設をした方がいいのではないかなというふうなところ

ろとかっていうのももうちょっとこう細かく、調査していきたいなというふうには思っている。

委員長

それで企画政策課にはデータをいただくように、毎日の乗降人数は全部データを取っているということであるので、それはいただくように働きかけたところである。もう1点の方の新庁舎の方に移らしていただく。新庁舎整備に求められる機能についてである。9日の日に、私どもの委員は、渡辺副委員長がその前に作成してあった議会部分の仕様に関わる要望という表があり、細かくいろんな分野にわたってあるけれども、そこの部分を、先日町の方が粗々な説明をして、議員だけが聞く機会があったけど、その、ものと私どもの考えとを比較したところである。ほとんど私たちの要望している部分は反映されているのかなというふうな感触である。ほとんどが丸か三角っていう感じである。であるけど、災害対応のところと、傍聴席の位置関係っていうのはちょっとまだはっきり町の方からは、説明が受けてないので、そこのところは、今後注視していきたいと思う。6月議会過ぎたときの時点で町の方からも、より前回私どもが受けた説明よりは詳しいものが出てくるはずであるので、そこでまた、いろいろ担当課と質疑できればなというふうに考えている。新庁舎整備に求められる機能については、現状そういう状況なのであるけれどもこれについてご意見どうぞ。

大沼

今までの中では、新庁舎整備というところでは、1つの建物で作っていくというようなお話でずっと進んできたところであったけども、今回まだ公開はされていないのかもしれないけど、我々議員の方に提出されている資料を見ている中だと、2棟で建てるというような形に変わっている。この辺りっていうのはある程度の説明は聞いているけども、実際に金額的なところの部分とか、その合理性とかっていうところが、まだわからないところも多分にあるので。そういうところもう今こう出されているからこれを基にしてしまうのではなくて、そこの考え方とか、実際の経費的なところで、そのあたりのところもしっかりと確認を取っていく必要があるのかなというふうに私は思う。

委員長

他に副委員長いかがか。新庁舎の機能について、どうぞ。

副委員長

先日、シェアにのみや議会報告会があって、特に具体的な提案とか、いろいろ思いも参加者からは出されたと思うので、そこについては、特にわかりやすい表示をして欲しいというのが出ていたけど、その辺については、まだ正式にみんなでたたいていないけど。1度そういう場面を今度作られてはどうか、作ってはどうかと思う。

委員長

議会基本条例推進委員会でシェアにのみやを開催し、総務建設経済の我々のテーマの1つである新庁舎の整備に求められる機能について、という意見交換の場と、あと教育福祉の方で、子供の人権絡みで、というテーマで、2つのテーブルとその他のテーブルがあった

けど、私どもの総務建設経済のテーマについて、ご意見を伺ったっていうところと、あとそれはもう具体的な地域の道路の整備のこととかは、私どもの委員会、担当課とちょっと確認していったりする。それは1つである。それと、新庁舎の機能について具体的な提案をいただいた部分については、参考にできるところは、ぜひ私どもも参考にさせていただいて、町にしっかり働きかけていきたいと思う。今、副委員長がおっしゃったように、表示のあり方、サイン、ユニバーサルデザイン。あとその目でわかる文字ではなく目でわかる印っていうのか、マークとかっていうふうな形で子供でもわかるようなものは大人でもわかるので、そういう形にして欲しいというし、ご自分の提案をメモにして、2日間参加してくださった方が、昨日は教育福祉の方だったけど、今日はこっちの新庁舎には非常に期待があるのでということで、ご意見いただいたので、そこは大事にしていきたいというふうに考えている。副委員長、そっちの方の、ともにいろいろ調査よろしく願います。他にいかがか。

善波

新庁舎整備に関しては経済的な面だけでとらえないで、やっぱり町民が将来、どのような機能を要することをあれしているのかっていうことをよく町民の意見を聞いて、どうせ作るんであれば10年先20年先、また変えるようなことのないように、設計をちゃんとしてもらって、議会的な機能については皆さんで、いろいろ議員間で交わしていることもあるから、そこは達成できていると思うけど。庁舎全体全般に対してのあれは、やっぱりもう少し町民の方からいろんな意見を聞いて、あと他の議員とか、そういうことも交えて、意見を交換したいなと思っている。

委員長

やはり委員の中でも、必要以上に予算はかけるべきではないという考えの方もいらして、町もそれで、それに対してはすごく努力しているというふうに、この間の説明では、あったと思う。外観なんかも。質素・堅実みたいな形で進めているとは思いますが、羽根委員はよく費用について、ご意見、今までも述べてらしたので、今善波委員が新庁舎については、費用にとらわれないでというようなお言葉があったけどいかがか。

羽根

やはり、費用は大事である。それで財政、行く先どうなるのかっていうところもあるし町民の方の理解が得られる費用っていうか金額はあると思うので、何か工夫が必要だと思う。町民の意見も聞きつつどこまで何を削減していきながら、低コストを選んでいくのかっていうところはあると思う。それで、私説明のときに確認したのが、私の一般質問のときに町長が面積の削減はあるのかって、あるっておっしゃってたので、確認したところやはりなんか全体的な面積としては削減少し小さくなっていたので、そういう努力はされているのかなというところで考えている。

委員長

そのような形だと思う。担当課は、とにかく費用かけないように、ということをや非常に神経をくだしているというふうに私は受け取っ

ている。他にその新庁舎整備に求められる機能についてはよろしいか。また6月議会に向けて、ともに調査研究しながら、進めていきたいと思うので、よろしくお願いします。本日の正式な委員会をこれで終了する。

閉会11時54分